

## N関労千葉支部結成

### OSでの闘いを展望

10月12日、東京北部につづき全国で2番目の支部、千葉支部が50名のNTT労働者、諸先輩の参加により結成されました。

結成大会は、ME千葉、サービス千葉との団体交渉体制を確立すること、合理化に反対し、労働条件向上をめざすことを方針として確認し、その後、「OS会社労働組合の組織論・運動論によせて」として『地域と労働運動』編集長の川副詔三さんから記念講演をうけました。

選出された3役は以下のとおり。

委員長 島根俊作

副委員長 矢作信夫、小柳敏朗

書記長 菅野益光



## N関労共済発足を決定

### N関労第2回臨時大会

N関労第2回大会が10月25日開催され、全労済に加入し、N関労共済を発足させることを決定しました。

ただし、今年度は任意共済のみとし、団体としての「総合共済」への参加は今後の研究課題としました。この全労済への加入には各組合員から1000円の出資金が必要となります。

### トピックス

## 退職・再雇用者の広域配転容認

### NTT東

賃金3割減で孫請会社に再雇用という、働く仲間にとって過酷な合理化が実施されて半年がたちますが、「家族と離れて暮らすことはできない」とNTTを退職し、地元のOS会社に再雇用された仲間を裏切るとんでもない提案をNTT労組東日本本部が行っています。

東の職場に配布されたN労東日本本部発行の「職場討議資料」によると、「退職・再雇用者の県域を越える人事交流のあり方」なるものを提起し、退職・再雇用者であっても、首都圏への広域配転を認めることを明らかにしています。

これは、雇用形態選択時に、退職・再雇用に問わず、県域に残れるとの約束を反故にするもので、NTT労組のとんでもない完全な労働者への裏切り行為です。これに対してはN労組合員の怒りも大きく、山形では、部会役員選挙にて、N労によるこの暴挙に反対する仲間が当選するなど、職場の仲間の怒りが拡がり始めています。

# 『構造改革』に抗する闘いを展望

## 西日本NTT労研開催



10月19日～20日、神戸市にて第2回西日本NTT労働者研究交流集会在開催され、30人のNTT労働者と仲間が結集しました。この研究交流集会上にはN関労西の組合員もほぼ全員参加し、「構造改革」の背景を学習するとともにアウトソーシング化に対する闘いを西日本各地で起こしていくことを意思統一しあいました。

まず加藤晋介弁護士から「『構造改革』の背景とわれわれの闘い」と題して3時間にもわたる講演のあと、参加者からの熱心な質疑が相次ぎました。

翌日には、兵庫、大阪、鳥取、広島、熊本、香川、徳島、高知、愛媛など各県からの闘いを報告しあい、ブロック別の交流を強化しあうことなどを確認しあって、集会は成功裏に終了しました。

### やっぱし退職金取り崩し生活

#### 四国ブロックの仲間たちの交流から

A 仕事自体がOSへ行った。50歳以上の人が多い。

ある仲間は16万円の手取りで、声がでない。退職金から、減った分同額づつ下ろしている人、15万減って10万取り崩してやりくりする人、生活水準はそう簡単に下げられない。正味減る。ビール2本を1本に減らす。屋根の修理も自分でやる。大学へ子供を行かせている人は悲惨だ。

B OSに行った(行かざるをえなかった)賃金が減ったうえ、慣れない仕事をやらされ、ベテランがいないと仕事にならない状態になっている。

C - 満了型のIさんが地元に戻ったことに周囲の仲間からひがみが出ている。帰れてよかったというのではなく。

D 自分自身はまだ若いけど、職場では半分が退職者で、金銭的にはショックを受けている。55歳以上の人はあと数年という気持ちからかまだまして、50歳過ぎくらいの方は落ち込んでいる。50歳以下の人はといえば、これからが大変と同情されている。

今になってやっと退職・再雇用制度を実感しているという感じだ。職場では個人別にノルマの張り出しがされる。「嫌がらせて満了型を選ぼうか」との冗談も出る。NTT労組が役に立たんのは当たり前になって、職場は組合のくの字も出ない。本当に遠い存在になった。

主査でも20万を切る。47～8が一番の高給取りになった。主査の人は大学生への仕送りで自分の収入が消える。妻の働きで生活している。退職金で家の借金を払おうと思っても今後が怖いし、ローンを買ったという人は聞かない。

E 企業年金を前払いで、月5万くらいだが、もらっている人もいる。

F がっぱり?もらって退職金取り崩して生活している。子供から「リストラされたくせにリッチや」と冷やかされた。アクトになって超勤もなくなった。N労は言っていくとこなし。新組合に行ったら行っただきちとしたところを見せなあかんし、まだそこまでいってない。

G MEの頃から仕事はあまり変わっていない。12名中半分が50歳以上。キャンペーンが重みをまし、自爆行為に近いのが当たり前。50歳以上の人は大学生など抱えていると大変。飲み会は減ったがパチンコは行っている。ただ、飲み会もタダなら行っている。

昨年の一時期金から評価を意識。チャレンジシートに目標を書くと意識する。所長が「この職場はエリア調整で見直しの議題に上がっている。

このまま残るといふことにはならん」と。48歳で、残念ながら再雇用に行くと思う。子ども2人は社会人と、専門学生。50の時は就職しているので。(おわり)